

浸水深マップ

- 湯田旧塘池・湯田新塘池 -

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるか知るために、ため池の全ての貯水量が流出する状況を想定しています。(浸水の深さを色で示しています。)表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

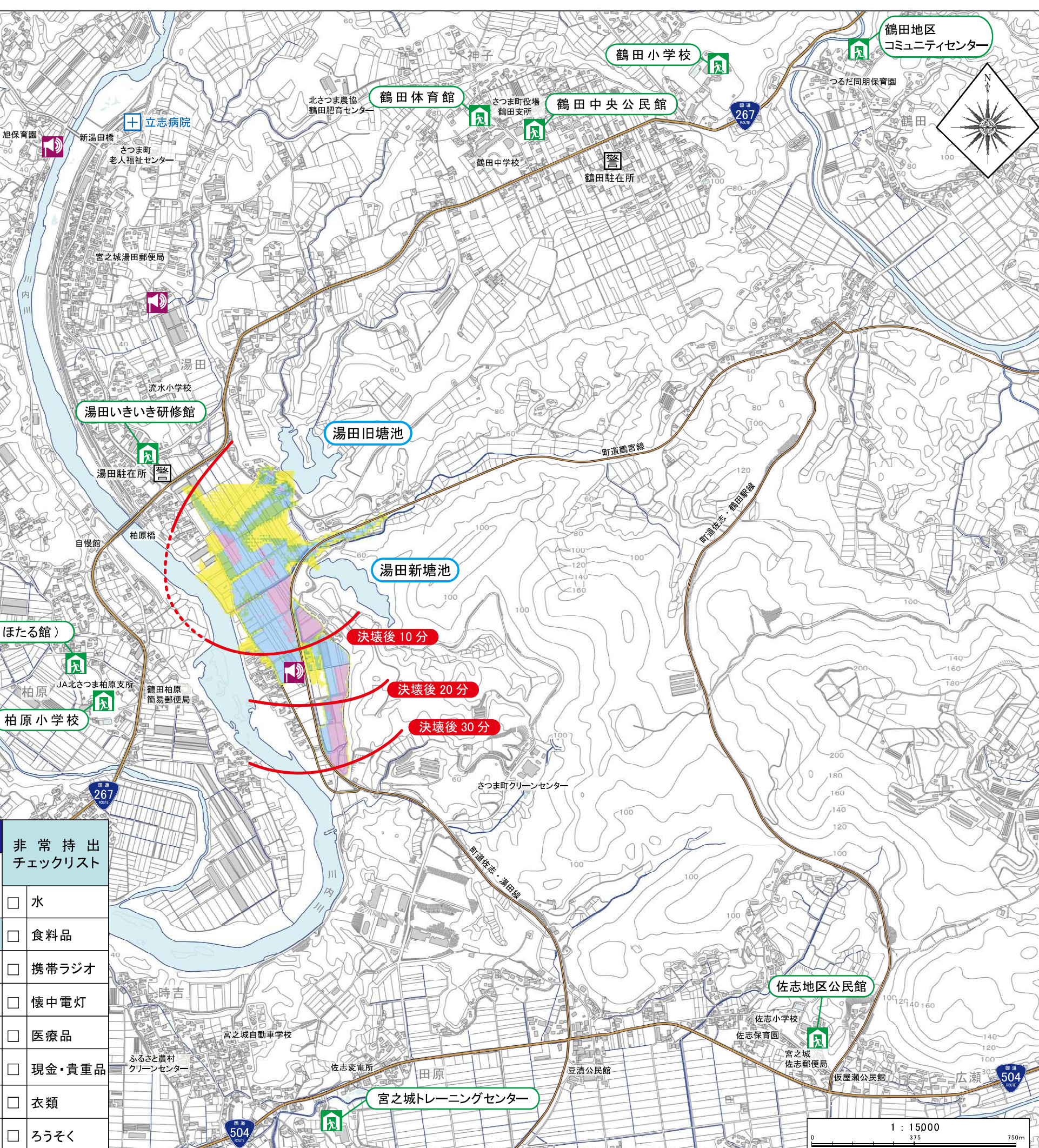
浸水の深さ	凡例
3m 2階以上が浸水	避難所 防災行政無線 警察 病院 消防署・分遣所 消防団詰所 防災関連施設 洪水到達予想時間
3m 1m 1階以上が浸水	
1m 0.5m 大人の腰まで 床下浸水	
0.5m	

川内川の浸水想定区域
大雨時には、河川水位が上昇し、氾濫する恐れがあります。川内川が氾濫した場合の想定される区域については、「川内川浸水想定区域図」(川内川河川事務所)を参照してください。

土砂災害の危険箇所
台風や大雨、地震等が引き金となって、がけ崩れや土石流、地すべりなどの土砂災害も発生する恐れがあります。土砂災害の被害が想定されている範囲については、「さつま町防災マップ」(さつま町総務課)を参照してください。

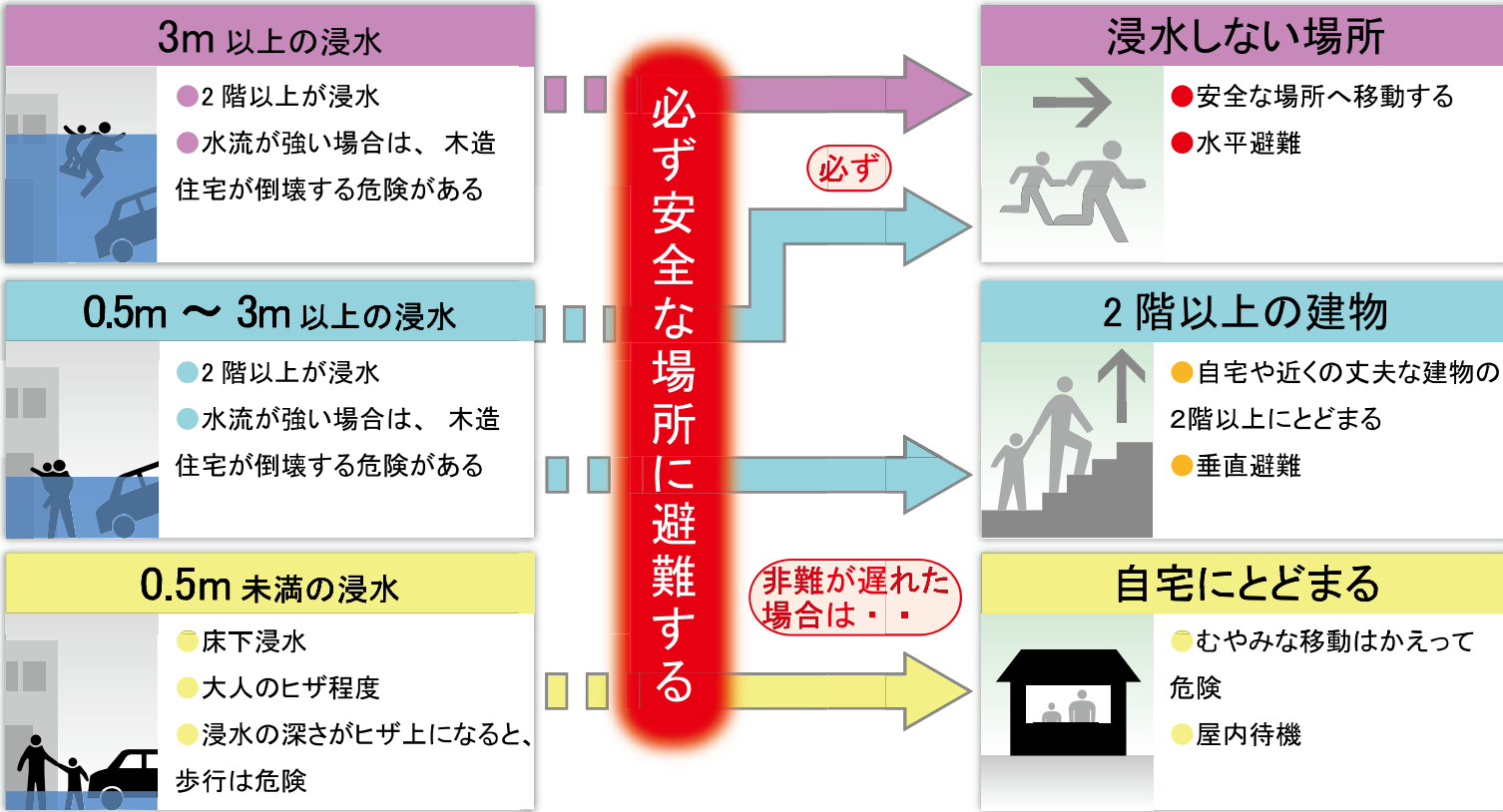
わが家の防災メモ 【家族全員で日頃から確認をしてみましょう。】

わが家の避難場所	家族の集合場所			
家族の名前	生年月日	血液型	持病・アレルギー・薬など	携帯番号/会社・学校の連絡先



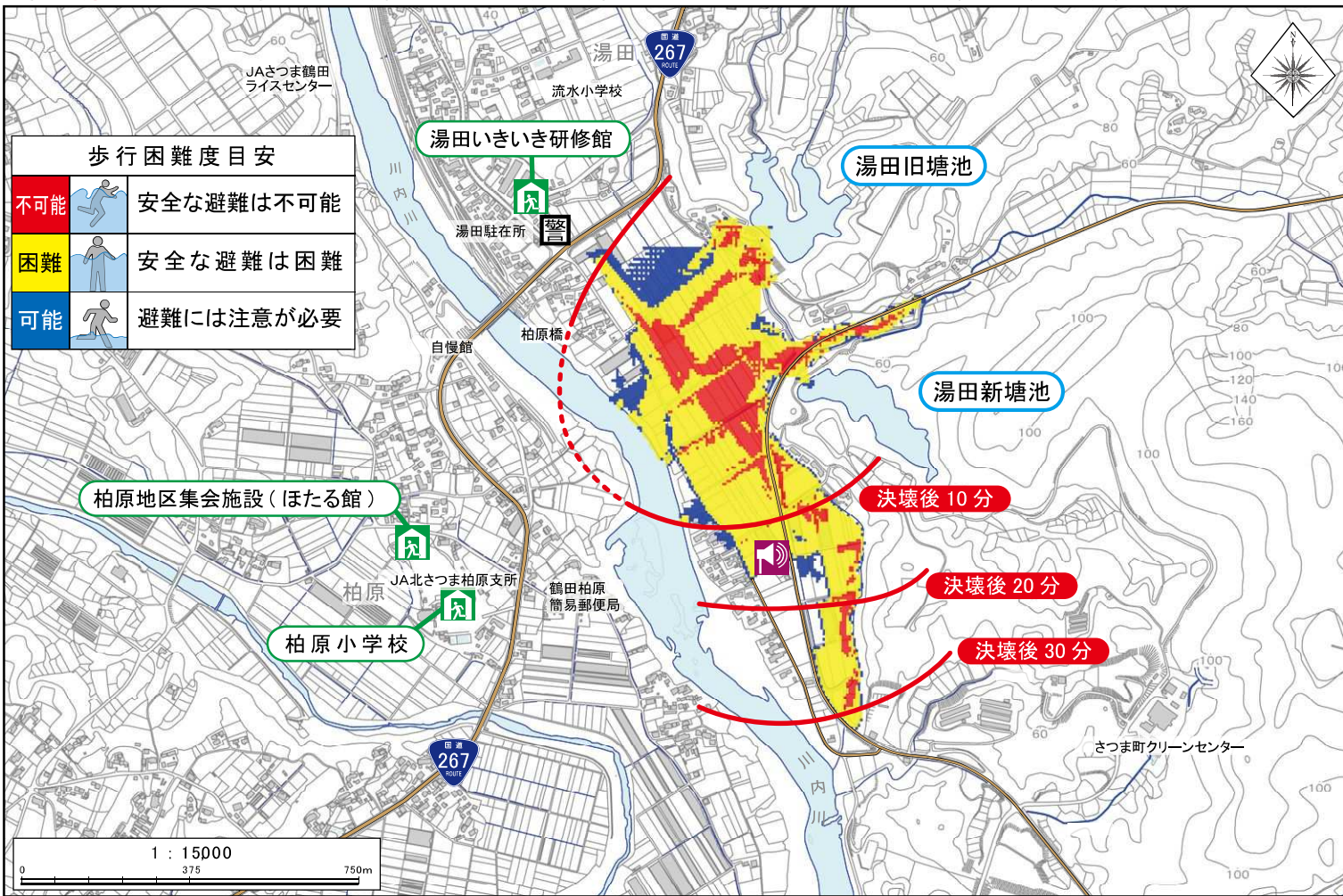
非常持出チェックリスト
<input type="checkbox"/> 水
<input type="checkbox"/> 食料品
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 医療品
<input type="checkbox"/> 現金・貴重品
<input type="checkbox"/> 衣類
<input type="checkbox"/> ろうそく

避難指示等がだされたら速やかに避難しよう



歩行困難度を確認しよう

● 浸水深さと流速の関係から、「歩いて避難することが困難な場所」を示しています。特に赤色、黄色は歩行が困難となるため、避難指示等が出されたら必ず避難が必要です。



さつま町ため池ハザードマップ

【問合せ先】 さつま町役場耕地林業課 0996-53-1111

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊するおそれのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するもので、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上を図るとともに災害時における被災の低減を目的としています。

ため池決壊について知ろう

大雨

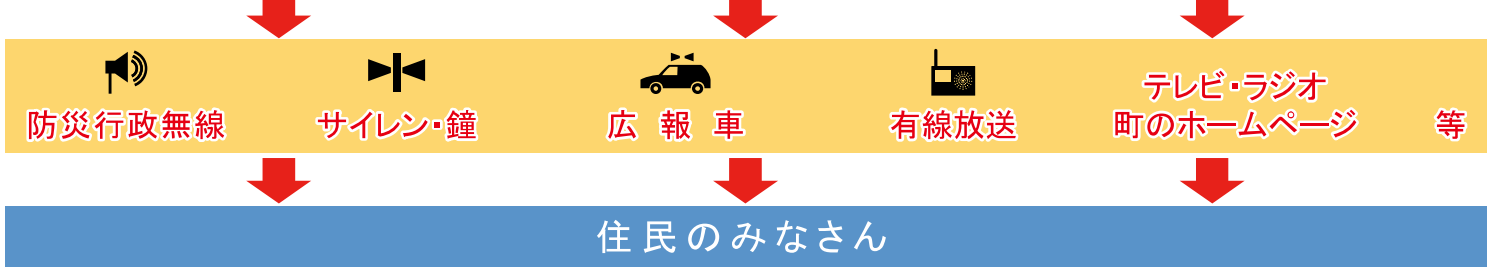
ため池の水位が上昇し堤防を越流したり、堤防が不安定な状態になり、ため池が決壊する危険性が高まります。

地震

ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じることや、地盤の液状化により、決壊する危険性があります。

町からの呼びかけ（避難情報）に注意しよう

警戒レベル	避難情報等	みなさんがとるべき行動	状況
5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	命の危険、直ちに安全確保	災害発生又は切迫
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~			
<b>4</b>	ひなんしじ <b>避難指示</b>	危険な場所から <b>全員避難</b>	災害のおそれ高い
<b>3</b>	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>	危険な場所から <b>高齢者等は避難</b>	災害のおそれあり
<b>2</b>	大雨・洪水・高潮 注意報等	自らの避難行動を確認	気象状況悪化
<b>1</b>	早期注意情報	災害への心構えを高める	今後気象状況悪化のおそれ



## 避難行動の心得を確認しよう

**避難する前に**

ガスの元栓・電気ブレーカーをチェック

**確認!**

**避難は徒歩で**

決められた避難所へできるだけ集団で避難  
非常持ち出し品を忘れずに

**協力し合って**

避難するときは、近所のお年寄りや障がい者などに声かけ協力

**安全なルートで①**

避難するときは、地すべりやがけ崩れなど土砂災害のおそれのある箇所は避ける

**安全なルートで②**

避難するときは、高い道路を選び、水路などに十分注意

**NTT災害用伝言ダイヤル**

伝言の録音 **171+1+** 被災地の方の電話番号 → 録音

伝言の再生 **171+2+** 被災地の方の電話番号 → 再生